

平成23年度 兵庫県立人と自然の博物館協議会

日時 平成24年2月22日（水）15:30～17:20

場所 県立人と自然の博物館 大セミナー室

1 出席者及び司会進行

○委員（五十音順）

石川委員、石野委員、岩木委員、今井委員、岡田委員、梶原委員、上甫木委員、竹内委員、寺見委員、長里委員、森川委員、山西委員（会長）

○人と自然の博物館

岩槻館長、中瀬副館長、森次長、岩崎館長補佐、高橋部長、服部部長、橋本室長、赤澤室長、西岡課長、山下課長、三枝主任研究員、松原副室長

○社会教育課

林社会教育課長

○司会

岩崎館長補佐

2 議事

○挨拶

岩槻館長

(1) 副会長の選任について

石野委員を選任

(2) 報告事項

博物館の活動について

森次長

平成23年度の活動状況について

高橋部長

(3) 協議事項

平成24年度の事業計画について

橋本生涯学習推進室長

恐竜化石等発掘状況について

三枝主任研究員

(4) 質疑・意見

- ・ 委員 移動博物館「ひとはく号」とはどのようなものか。バスを借り上げるのか。大学にも来てほしいが、企画はどうなっているのか。
- ・ 博物館 ノーマルなバスを買取り、改造して運用する。今後の博物館運営に活用していく予定ですが、内容については現在企画中で、これからである。
- ・ 委員 人博は自然系の多くの物を蓄積している。人博の役割は関心を持つ人の裾野を広げることである。地域場の場づくりとして現地の人々が効果のある物を展開し、創っていきけるサポートが大切である。中でも山陰海岸ジオパークをこれからの数年の目玉として大きなストーリーで編集し、ベースを作って提供し興味がない人も取込んでいく必要がある。
- ・ 委員 山陰海岸ジオパークの話題に関連して、何か。
- ・ 委員 地元の知名度を上げるために、若い人が新しいサンプルを作成中である。見せる収蔵庫として、「ひとはくジオキャラバン」で提供していた

取組みをしているにもかかわらず、地域（地元）の人々の参加が少ないので、三田市の広報を通してアピールしていただきたい。

- ・ 委員 三田市の広報に人博の個別事業を載せるのは難しい面がある。むしろ三田市の小学校等に対して広報を行うのがいいのではないか。三田市としてもできる範囲での協力はしたいので検討したい。

5 閉 会